

「花祭りの里」交流

一東栄町で「花祭」と「健康」を体験交流



愛知県東部の北設楽郡(2町1村)は面積が名古屋市の1.6倍・人口は12,000人です。山林が90%を越えます。終戦直後のベビーブーム時の人口がピークで現在は約1/3に減りました。豊根村では「花祭」(重要無形民俗文化財)が一つ消え、東栄町では7つの小学校が一つに統合されました。「山」の豊かな自然や文化が消えそうです。

一方「都会」は人口が密集し、高層ビルが立ち並び、「息苦しいよね?」と思うことがあります。東栄町を舞台に伝統のお祭りや山の暮らし、自然を山の方々の案内で体験交流し、「山」と「都会」の理解を深めます。

「山では心も身体も洗われるようだ」というのは事実で、「山」は血圧を下げストレスを解消し、心身ともに人を健康にする効果があります。「健康」コースは、山歩き・山ごと・間伐材など山の資源を採取し加工したり、健康料理などを体験します。「花祭」コースは、布川(ふかわ)地区で舞や囃子の稽古などを見学したり花祭の準備や本番のお手伝いをしながら体験交流します。山のくらしや夜空・星空を満喫します。

このような体験交流を通して、山と都会のいい関係づくりのためのアイデアや事業モデルを開発します。山と都会の交流に積極的に参加頂ける方を募集しています。

参加者募集!

(*写真は布川の榊鬼)

「健康」コース プログラム内容(1泊2日×3回)

第1回 花祭の原点「白山神社」の祭を山登り見学
12月9日(土)・10日(日) 終了しました。

第2回 「山仕事・工作」体験と「藤蔓等山の資源採り」
2月17日(土)・18日(日)

集合 2月17日 9:30「千代姫荘」。(10:00 現場へ移動)
宿泊 「千代姫荘」
解散 2月18日 14:00
内容 間伐や枝打ちなどの山仕事体験・木工細工、藤蔓採りや藤蔓リースづくりなどを体験。民俗資料館で昔の生活用具などにもふれます。

第3回 「山の食材と料理」と「花祭」(裏方等)体験
3月3日(土)・4日(日)

集合 3月3日 11:00 (東栄グリーンハウス)13:00 移動
宿泊(3月3日祭終了後に就寝します。)
解散 3月4日 14:00
内容 山の健康食材で調理を体験、花祭本番に参加しお手伝い交流します。

「花祭」コース プログラム内容(1泊2日×3回)

第1回 「花祭のお話と現地見学と交流(布川地区)」
2月10日(土)・11日(日)

集合 2月10日 10:00「千代姫荘」(10:30 現地へ移動)
宿泊 「千代姫荘」 / 解散 2月11日 14:00

第2回 「花祭」の準備手伝いや稽古の見学・練習体験
2月24日(土)・25日(日)

集合 2月24日 10:00「千代姫荘」。(13:00 現地へ移動)
宿泊 「千代姫荘」 / 解散 2月25日 14:00
内容 布川地区で花祭の準備のお手伝いや稽古の見学・交流体験をします。

第3回 「花祭」本番の(見学・お手伝い等)体験

3月3日(土)・4日(日)

集合 3月3日 11:00 (東栄グリーンハウス)13:00 移動
宿泊(3月3日祭終了後に就寝します。)
解散 3月4日 14:00
内容 布川地区で花祭のお手伝いや見学交流をします。

天然療養泉とうえい温泉も利用します。

「千代姫荘」(東栄町大字中設楽字西向13-3 電話 0536(76)0489 *宿泊予約は、一括主催者側で行います。

【公共交通】JR飯田線で東栄駅下車、町営バスで「役場前」(15分程度)下車、そこから徒歩40分。

【車の場合】東名「豊川インター」からR151号線で1時間強、中設楽交差点を左折してすぐ。

「東栄グリーンハウス」(東栄町大字本郷字大森1 電話 0536(76)1266 *宿泊予約は、一括主催者側で行います。

【公共交通】JR飯田線で東栄駅下車、町営バスで「本郷」(10分程度)下車、そこから徒歩10分。

【車の場合】東名「豊川インター」からR151号線で1時間、新本郷トンネルを通過し、1つ目の信号(「本郷」)手前50mを右折し500m。

一やまととかいのいいネットワークづくり

主催 実行委員会(東栄町・NPO法人ボランティアネイバーズ、ほか)
問合せ(電) 東栄町:0536(76)0502 / ネイバーズ:052(979)6446

実行委員長(森田昭夫東栄町長)、副(鈴木
盛宏トヨタボランティアセンター所長)、(黍嶋
久好愛知大学三遠南信地域連携センター研究員)